



企業変革を機に、新しいソディックの創造と
持続可能な社会の実現を目指します

代表取締役社長

古川 健一

▶ 経済正常化に伴い、通期業績予想を上方修正

株主の皆様には平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年12月期第2四半期の売上高は393億17百万円、営業利益は34億79百万円、経常利益は59億58百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は41億21百万円と、前年同期比で増収増益となりました。半導体等の世界的な部材不足、原油・エネルギー価格の高騰、急激な為替変動や地政学的リスク等による景気減速に対する警戒感が強まっていますが、経済の正常化が進み、EVや5Gの進展等、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要が拡大していくと見込んでいます。

このような事業環境を踏まえ、通期業績予想を下記の表の通り、上方修正しております。

(単位:億円)

	2022年12月期			増減 (期初計画比)
	第2四半期 累計(実績)	通期業績予想		
		期初計画	修正計画	
売上高	393	779	818	+39
営業利益	34	72	72	—
経常利益	59	72	90	+18
当期純利益	41	57	65	+8

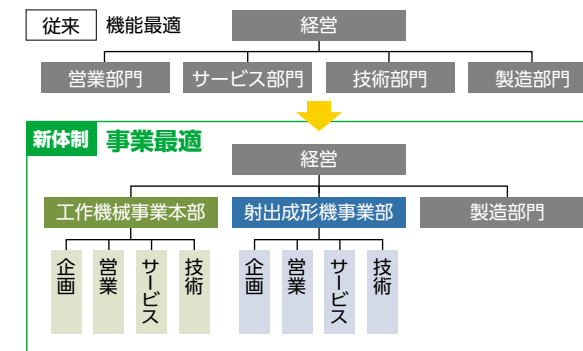
▶ 3つのテーマで組織変革を推進

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、通信技術の革新、グローバル化の新潮流、SDGsに対する取り組みの加速等、事業環境が大きく変化するなかで、お客様のものづくりの課題を解決するために2020年から準備を進めてきた企業変革は、2022年1月、工作機械事業本部の発足とともに本格的にスタートしました。現在は(1)事業の総合的なソリューション化(2)アフターサービス事業の強化(3)DXの活用、この3つのテーマに取り組んでいます。

▶ 社会課題の解決に向けた取り組みを加速

大きく変化する事業環境のなかでも、自社の行うべきことをしっかりと見定めて前進するため、2021年に経営の重要課題としてマテリアリティの検討と分析に着手し、「進化するものづくりへの貢献」「環境マネジメントへの対応」「人材の多様性の促進」「ガバナンスの強化」の4つを抽出し、取締役会にて承認を得ました。今後は、財務的指標だけでなく、これらのマテリアリティに対するサステナビリティのKPIの設定を検討し、社会に対する価値創造に資

工作機械と射出成形機に関連する組織



する企業としての取り組みを深化、加速させていきます。

ソディックグループが今後も持続的に「お客様のものづくりを支えていく」ためには、当社自身が「持続可能」であることが不可欠であり、それを具体的に実践し、具現化することが私たちの役割です。いかなる局面においても、自社の存在価値を見失うことなく、社是である「創造」「実行」「苦勞・克服」を基盤に進化を続けていきたいと思ひます。

株主の皆様、どうぞ当社グループの未来にご期待いただき、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

ソディックグループのマテリアリティ(重要課題)と関連するSDGsのゴール

進化する
ものづくりへの貢献



環境マネジメント
への対応



人材の多様性の促進



ガバナンスの強化

